

データインテグリティ対応培養制御ソフトウェア

DI対応は、データの不正や改ざんの防止を目的とした規則への対策として製薬業界を中心に急速に広まっています。

特徴

- ALCOA+原則に則ったデータ管理
- 豊富なシステム設定でお客様のご要求にフィットしたシステム構築
- 他社装置の培養データをソフトウェア上で閲覧可能 複数装置のデータを一括管理
- ソフトウェアのデータは OPC.UA 通信で公開可能
- 直感的なユーザーインターフェースを持ち、容易に操作可能



藤嶋昭 東京大学特別荣誉教授・東京理科大学荣誉教授 監修

発明・発見
シリーズ
005

インフラ整備でコレラ対策

コレラは糞便が混入した飲料水や食品を摂取することで感染する。昔の日本や、下水道整備が遅れている国では、今でも多くの死者を出している。コレラ菌は多種類あり、殆ど無害だが、数種類は人に感染し、その作る毒素で下痢を起こす。重症化すると激しい下痢や嘔吐を起こして、治療しないと半数が死に至ることもある。ミアズマという悪い空気を吸うことで悪い病気になるとの定説があったが、ジョン・スノー (1813~1858) は、コレラは空気で感染するのではなく、水に含まれる何かの原因ではないかと考え、ロンドンで大流行が起こった時、広範囲の多くの家庭から聞き取り調査をする“集団を対象にした疫学的研究”を行った。その結果、河川の下流域から汚染された水を取水していた特定の水道会社の水を飲んでいたり、肥料溜め近くの井戸を利用している地域に感染者が多いことを見出して、汚染水の使用を禁止することによって、感染を防止した。ミアズマ説を否定すると共に、コレラ対策には上下水道整備、河川の浄化等インフラ整備が有効であることを示した。その後、コレラ菌は1883年コッホによって発見された。

ジョン・スノーは優れた麻酔学者でもあり、エーテルやクロロホルムの適切な利用や用具開発を推進した。

参考文献: 佐巻健男, 世界史は化学でできている, ダイアモンド社, p.115 (2021)



開発・製造

ABLE エイブル株式会社

www.able-biott.co.jp

・カラー版配信
・お問い合わせ
フォーム



お問い合わせは、株式会社バイオットまで

販売元

Biott 株式会社バイオット

本社 〒162-0812 東京都新宿区西五軒町 6-10
TEL: 03-3260-0415 (代) FAX: 03-3260-0407

大阪営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 5-1-3
TEL: 06-6398-1260 FAX: 06-6398-1261

2024.11 発行